

付属資料10. 主要面談者リスト (事前調査時)

事前調査 主要面談者リスト

(1) 水利・環境省 (Ministry of Environment and Waters Management)

Mr. Florin Stadiu Secretary of State
Mr. Gheorghe Constantin Director, Water Management and Ecological Protection,
Interbasin Coordination and Transboundary Waters Directorate
Mr. Dumitru Dorogan Counselor, ICZM, Interbasin Coordination, International
Districts and Transboundary Waters Office
Mr. Cornel Gabrian Florea

(2) 国立海洋地質学研究所 (National Institute of Marine Geology and Geo-ecology ; GeoEcoMar)

Mr. Nicolae Panin Director General, Professor
Mr. Gabriel Ion Seismo-Acoustics and Data Management
Dr. Gheorghe Oaie Scientific Director
Adrian Starica, PhD. Coastal Studies

(3) 教育省 (Ministry of Education and Research)

Mr. Gheorghe Popa State Secretary
Ms. Rolanda Predescu Head, R&D Policies and Strategies Unit

(4) EU ルーマニア事務所 (European Union, Delegation of the European Commission in Romania)

Ms. Jeni Ionita ISPA Team Leader
Ms. Adriana Micu Task Manager-Environmental

(5) 国立海洋調査開発研究所 (National Institute for Marine Research and Development ; NIMRD ;
Grigore Antipa)

Mr. Simion Nicolaev General Director
Mr. Alexandru Bologna Scientific Director
Mr. Danut I. Diaconeasa Senior Scientist
Mr. Razvan Mateescu Researcher

(6) 水利公社ドボロジャ支所 (National Administration of Romanian Waters ; Apele Romane)

Mr. Hristu Uzun Director
Mr. Dumitru Lucian Dip. Eng.

Ms. Irina Piti International Relation Office
Ms. Jeni Bujini International Relation Office

(7) IPTANA (Design Institute for Road Water and Air Transport ; 道路・水利・空港関係構造物に関する設計会社)

Dr. Marian Constantinescu Deputy General Manager
Dr. Liliana Mara Director of Environmental Protection Directorate
Ms. Doina Georgeta Simescu

(8) AQUAPROIECT (水利・環境関係構造物に関する設計コンサルタント会社)

Ms. Liliana Dragan Manager, AQUAPROIECT
Mr. Viorel Mitoiu AQUAPROIECT
Mr. Gheorghe Bratianu Technical Director, AQUAPROIECT
Ms. Leontina Ilie Chairperson of the Board of Trustees, AQUAPROIECT
Ms. Anca-Eugenia Farcas Translator, Marketing Department, AQUAPROIECT
Mr. Constantin Iulian, Ph.D. Specialist in Hydraulic Engineering Structures, AQUAPROIECT

(9) 国立環境保全開発研究所 (National Research and Development Institute for Environment Protection, 水利・環境省 ; ICIM)

Prof. Ovidiu Ianculescu Ph.D. General Director, ICIM
Dr. chem. Aurel Varduca Scientific Director, ICIM
Mr. Liviu N. Popescu Diplomat Engineer - Main Researcher, ICIM

(10) 日本大使館

Kenitirou TANAKA Second Secretary
飛林 良平 三等書記官

(11) JICA ルーマニア駐在員事務所

古川 洋 所長

事前調査 協議議事録

（1）JICA ルーマニア事務所

日時：7月21日（水） 9：20-9：45

場所：JICA ルーマニア事務所

出席者：古川 JICA 事務所所長

協議概要：

調査団から事前調査の概要を説明した。

事務所からのコメント

- ・ Questionnaire は対象機関に送付済みである。
- ・ S/W 案、M/M 案は送付していない。→S/W 案、M/M 案は対象機関訪問時にコピーを手渡すとともに、JICA ルーマニア事務所から対象機関にメールで送付する。

（2）日本大使館

日時：7月21日（水） 10：10-10：45

場所：日本大使館

出席者：田中二等書記官、飛林三等書記官、古川 JICA 事務所所長

協議概要：

調査団から事前調査、環境予備調査の概要を説明するとともに、黒海南部海岸の海岸侵食の現状とそのメカニズム、対策工法案などを簡単に説明した。

大使館からのコメント

- ・ ルーマニア政府からの口上書がまだ日本大使館に届いていない。口上書ならびに S/W においては、輸入関税に関してもめる可能性がある（機材の国内調達の場合は、不満ながらも VAT を支払っている）。S/W の調印は口上書が届いていなくとも可能であるけれども、S/W の発効日は口上書が届いた日より後である必要がある。

（3）水利・環境省および海洋地質学研究所（GeoEcoMar）

日時：7月21日（水） 11：30-12：40

場所：GeoEcoMar

出席者：Mr. Dumitru Dorogan, Counsellor, 水利・環境省

Professor Nicolae Panin, Director General, GeoEcoMar

Dr. Gheorghe Oaie, Scientific Director, GeoEcoMar

Dr. Gabriel Ion, Seismo-Acoustics and Data Management, GeoEcoMar

Adrian Starica, PhD., Coastal Studies, GeoEcoMar

古川 JICA 事務所所長

協議概要：

調査団から事前調査、環境予備調査の概要、パイロットプロジェクトの基本方針および Questionnaire の内容を説明した。

水利・環境省からのコメント

- ・ 今回の調査は南部海岸のみの調査案となっているけれども、ルーマニア政府は黒海沿岸全域の保全を考えており、北部海岸も含めた調査計画にしてもらいたい。
→これに対し、調査の時間、予算が限られており、黒海沿岸全てを調査することが

できないことを説明し、理解してもらう。

- ・トータルで2年半の調査は長すぎる。現時点で黒海沿岸保全のために国際ドナー等からの資金獲得に向けてのタイムスケジュールは決まっていなくても、できるだけ早く（できれば1年ぐらいで）調査を終了して欲しい。
→これに対し、海岸保全のための資金を獲得するためには、しっかりした調査に基づく海浜保全計画の策定が必要であることを説明し、本計画案に示すとおり期間が必要であることを理解してもらう。
- ・S/W 案の便宜供与に関する項目に関しては外務省ともすでに協議をしているがまだ回答がないので、早急に調整する。
- ・2004年から2008年にかけて、National Program of Measures というプログラムが進められている。（本調査との関連については不明）

GeoEcoMar からのコメント

- ・GeoEcoMar は民間のコンサルタントではなく国立研究所であるので、S/W の witness になってもよい。
- ・本格調査のコンサルタントとして GeoEcoMar を選択するか NIMRD を選択するかは日本次第ではあるけれども、双方の機関はそれぞれ研究対象が異なっている。NIMRD が Coastal Morphology（海岸地形）を対象としているのに対して、GeoEcoMar は Sediment Transport（底質移動）や Coastal Dynamics（海岸における波、流れ、地形変化）を対象としている。
- ・Mamaia Beach では、2003年に5測線の断面測量（水深10m程度まで）を行っている。Mamaia Beach では1993年にも深淺測量を行っている。
- ・今年（2004年）の8月には、Mamaia Beach よりも南側の海岸で深淺測量を行う予定である。
- ・Tuzra 海岸では2003年に深淺測量が行われている。ただし、それ以前のデータはないようである。

（4）教育省

日時：7月21日（水） 13：00-13：20

場所：教育省

出席者：Mr. Gheorghe Popa, State Secretary, 教育省

教育省の女性職員（国際関係担当）

Mr. Dumitru Dorogan, Counsellor, 水利・環境省

Professor Nicolae Panin, Director General, GeoEcoMar

古川 JICA 事務所 所長

協議概要：

調査団から事前調査の概要を説明した。

教育省からの質問、コメント

- ・2005年初めから黒海の新環境プログラムが始まり、イスタンブールでエキシビションがある。また、2005年7月（？）に開催される愛知万博にも参加する予定である。そこで、これらに向けてデルタの環境保護などを含む環境に関する短い記録映画を製作中である（2004年12月の製作終了予定）。日本による本件調査ともうまく協力できることを期待する。